

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		台東区芸術文化財団運営				所管	文化産業観光部 にぎわい計画課		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名				
	長期総合計画体系	[基本目標]					事業の開始・終了年度		
		[小 柱]							
		[施 策]							
	根拠法令等	条例・規則		[法令等名]	東京都台東区一般財団法人に対する助成等に関する条例				
	事業対象	公益財団法人台東区芸術文化財団							
	事業目的	公益財団法人台東区芸術文化財団の健全な運営及び発展を図り、区民の芸術文化、スポーツ活動を推進する。							
	事業内容	公益財団法人台東区芸術文化財団事務局の管理運営経費、事務局で実施する自主事業の経費に対して補助を行う。							
委託の有無	一部委託		委託内容	建物維持管理委託					
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)			目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	事業の性質から、具体的な数値の							
		活動指標を設定することが困難							
	成果指標	自主事業実施数 回			35	38	35	32	
	決算額 (単位：千円)				245,340	236,614	221,496		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト（人件費など）			2,700	5,831	2,556		
		物にかかるコスト（物件費・維持補修費）			13,213	2,132	2,222		
		その他のコスト（扶助費・補助費など）			232,127	234,482	219,275		
		総経費			248,040	242,445	224,053		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額（使用料・手数料・負担金など）			0	0	0		
		その他特定財源（国や都の支出金・財産収入など）			11,057	0	0		
一般財源（区負担額）			236,983	242,445	224,053				
前年度から改善した事項		事業経費の節減を図り効率的な運営に努める一方で、朝倉彫塑館のリニューアルオープン記念展示やシンポジウムを開催するなど、自主事業の充実を図っている。							
評価の視点		評価	評価の理由						
	必要性	3	財団の創意と柔軟性を活かし、各種事業を効率的に実施し、区民の芸術文化、スポーツ活動の推進が図られていく必要があるため。						
	効率性	3	補助金の大部分は人件費に関する経費であり、適正に運用されているため。						
	手段の適切性	3	芸術文化やスポーツに関する様々な自主事業が実施されており、区民の芸術文化、スポーツ活動の維持向上につながっているため。						
	目的達成度	3	自主事業を計画通り実施しているため。						
[評価の理由]（区民生活への影響を十分考慮すること）					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
財団の健全な運営及び発展を図り、区民の芸術文化、スポーツ活動を推進する必要があるため。						維持			